

# 兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 15 号)

2022年 2月15日発行  
兵庫のり研究所

海域西部において、依然として珪藻は確認されますが、発生量は減少していました。満潮時での調査ということもあり、窒素は明石海峡部で  $4 \mu\text{g-at/L}$  台、明石海峡部からの海水の影響が見られる林崎漁場～魚住漁場で概ね  $2 \sim 3 \mu\text{g-at/L}$  前後、陸水等の影響が見られた地点を除き、二見漁場以西で  $1 \mu\text{g-at/L}$  前後の値でした。

(水温) 漁場内平均  $9.1^{\circ}\text{C}$ 。昨年比  $0.3^{\circ}\text{C}$ 、平年比  $0.2^{\circ}\text{C}$  高い。(塩分) 平均  $31.89\text{psu}$ 。前回 ( $31.69$ ) より  $0.2\text{psu}$  高い。  
(栄養塩、珪藻) 明石海峡部から林崎漁場において、栄養塩を消費する珪藻類はほとんど確認されない。魚住漁場以西では、リゾソレニア・レプトシリンドラス、スケルトネマ等は確認されるが、発生量は減少していた。各海域毎の海水  $1\text{mL}$  あたりの細胞数は、魚住漁場～二見漁場東部で  $50 \sim 80$  細胞(前回値:  $100 \sim 150$ )、二見漁場西部～高砂漁場で  $150 \sim 250$  細胞(前回値:  $250 \sim 450$ ) であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	8.5	9.1	8.9	8.8
窒素	1.1	2.4	2.6	2.2
リン	0.22	0.35	0.32	0.36

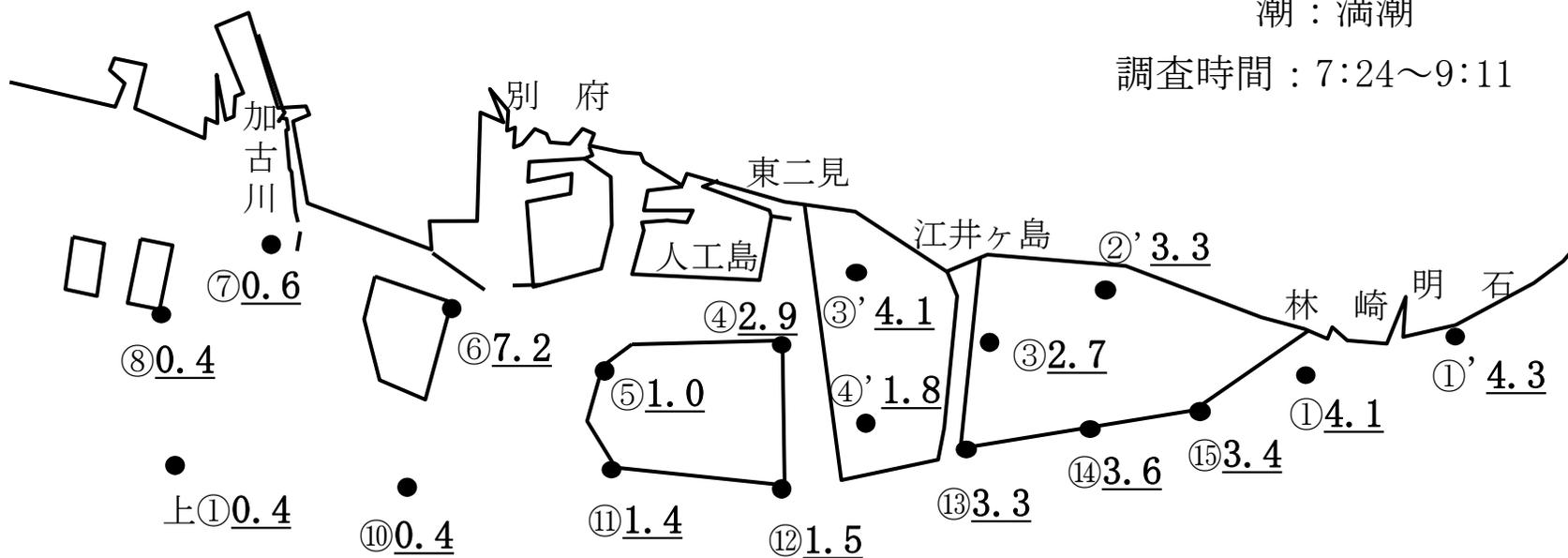
(2/10) ※窒素の平均は別府を除く  
※窒素の値は調査地点⑤と⑦を除く (2/20)

2022年 2月15日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：満潮

調査時間：7:24～9:11



## 水温図

